



ひとにやさしく **か**んばりすぎずに継続し**勇**気をもって **し**っかり学ぶ 東っ子！414名

【今回の学校だよりは、電子媒体のみでの配信となります。子どもさん向けには担任の先生が教室に掲示して下さっております(-)-】

学校関係者評価結果をご報告いたします (-_-) 保護者の皆様

学校関係有識者のみなさまありがとうございました。 <m () m>

令和7年度 学校関係者評価

飯塚市立飯塚東小学校

【学校教育目標】
豊かな心と 自ら学ぶ力をもち たくましく生きる 子どもの育成

【学校経営の重点目標】
《組織運営》「協働化・効率化・質実化」をキーワードとした組織運営※同じ方向、取組も徹底 ※経路指の徹底
《教育課程》「知識及び技能」思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の育成を目指す教育活動の展開
(※詳細 組織運営の進捗状況等については、校長室の掲示物及びホームページに掲載しております。計画的な評価の実施)

【教育指導の重点目標】
見通しを持って粘り強く取り組み、友達と協力し、自己の学習活動を振り返って次につなげる学びの積み重ね
(ICT活用による「協働学習」及び「個別最適化された学習」(キュビナドール活用)の実施)

★は全員が回答を、★は教諭、講師及び助教が回答をしています。

評価項目	観 点	努 力 点	評価(割合) %					平均点	昨年度	平均P	昨年度	成果と課題 (○) (●)	改 善 策 (◇)	評 価	昨年度	学校関係者評価 (評価に対する意見)
			4	3	2	1	平均点									
組 織 ・ 運 営	組織をマネジメント生かした協働体制の確立	★ 各部・各係が、学校教育目標の具現化に向け、学校経営の重点に基づいた企画により、自ら責任をもち役割分担の遂行にあたる事ができた。	34%	65%	0%	0%	3.3	3.3	3.5	3.2	○学校教育目標の具現化に向け、全校職員が協働し、遂行にあたる事ができた。 ●今年度校務分掌のスリム化や役割の明確化に取り組んだが、まだ十分機能していない部分があった。	◇目的や目標の職員間での共有を大切にし、学年や校務分掌等を意識しながらチームとして機能する学校づくりを推進していく。そのために、校務分掌のスリム化や役割の明確化をさらに進めていく。	3.8	3	*全員が協働し、遂行できたことは評価できる。 *運動会の様子などから職員が組織的に動いており、チームとして機能している様子が窺われた。 *教員の多忙な地域への働きかけと、課題に対しては、原因をより深く分析し、PDCAサイクルを回すことが重要。	
		★ 人にやさしく思いやりのある児童の育成をめざして学年経営や学級経営等にたどることができた。(人にやさしい東っ子)	45%	55%	0%	0%	3.5	3.2								
		★ がんばりすぎずに継続することができる児童の育成をめざして学年経営や学級経営等にたどることができた。(がんばり続ける東っ子)	45%	55%	4%	0%	3.5	3.1								
		★ 自ら考え、進んで表現し、互いに学び合えることができる児童の育成をめざして学年経営や学級経営等にたどることができた。(しつこく学ぶ東っ子)	45%	55%	4%	0%	3.5	3.0								
教 育 課 程	教育課程の推進と言語活動を生かした教育活動の工夫	★ 年間指導計画に沿って、計画的に教科の授業を行うことができた。	40%	40%	9%	0%	3.4	3.4	3.1	3.0	○各学年で「ま」と「め」のある学習指導を実施することができ、年間指導計画に沿って、意図的・計画的に授業を行うことができた。 ●1時間の流れを児童の意欲付けを図るよう計画することが不十分であった。	◇緒活動を行う前の打ち合わせの時間を確保し、学年間で共有するとともに、活動のねらいの共通理解を図る場も設定していく。	3.3	3	*例年通りで取組んでいたことを目的を見直し、精選する活動が来年度も進むことを願っている。 *地域の大切さを伝えてほしい。	
		★ 学習のめをを設定し、ままとめを統合した学習指導を行うことができた。	25%	75%	5%	0%	3.2	3.1								
		★ 1時間の学びを「導入(課題把握)ー展開(見通し・自力解決・交流)ーまとめ」として、児童の興味・関心を高める指導を工夫することができた。	15%	46%	20%	0%	2.9	2.9								
		★ 諸教育活動のねらいや内容を意識し、活性化を図ることができた。	17%	65%	17%	0%	3.0	2.8								
研 究	学力向上に向けた研究の推進	★ 授業研究を全学年1回は実施し、仮説・着目の有効性を検証することができた。	65%	25%	0%	0%	3.7	3.4	3.4	3.3	○全国学力・学習状況調査や標準学力検査等の結果を分析し、本校の学力の実態(課題)を共有し、学力向上の取組を推進していく。また、そのための校内研修の時間設定を行うとともに、学年会などで指導方法の共有を図るとともに、実践に合わせた支援の工夫を行っていく。	*特別活動を柱に主体的に活動する様子が伝わってきた。 *学校運営等を進めて頑張っている様子が伝わった。	3.4	3	*特別活動を柱に主体的に活動する様子が伝わってきた。 *学校運営等を進めて頑張っている様子が伝わった。	
		★ 学力テスト等の結果を分析し、児童の学力の実態に基づいた学力向上の取組の推進を図ることができた。	40%	45%	10%	0%	3.3	3.3								
		★ 教職員のニーズに応じ、教職員の指導力向上をめざした校内研修に積極的に参加した。	35%	55%	10%	0%	3.3	3.3								
		★ 校外での研修会に積極的に参加し、教職員の基礎づくりのために研修会で学んだことを授業や教育活動に取り入れることができた。	35%	60%	5%	0%	3.3	3.1								
人 権 ・ 同 和	確かな学力を身につけるための授業改善	★ 基礎・基本の定着を図るために、具体的な平定を工夫することができた。	25%	70%	0%	0%	3.3	3.1	3.3	3.3	○習熟度別学習や補充学習等を実施したりキュビナ(ARドリル)を活用したりして、個別最適な学習指導を進めることができた。 ●対人関係能力や自尊感情を高めるための取り組みの系統化が不十分である。	◇特別活動における対人関係能力を育成するために、構造的グループエンカウンターを取組を年間計画に位置づけ、組織的に実施していく。	3	3	*小中一貫で人権感覚や自尊感情を高める必要がある。 *十分実践されていると思う。	
		★ 日々の授業で、個に応じた指導と指導方法の工夫や改善を図ることができた。	40%	45%	10%	0%	3.3	3.3								
		★ 全教育活動の中で、人権・同和教育の視点に立った学習を推進することができた。	30%	65%	4%	0%	3.3	3.2								
		★ 様々な体験活動を通して、豊かな人間関係を築くことができるように、児童の人権感覚や自尊感情を高めることができた。	26%	70%	4%	0%	3.2	3.2								
生 徒 指 導	基本的な生活習慣の確立	★ 挨拶や学習の準備・整理整頓など、基本的な生活習慣の定着を図ることができた。	39%	61%	0%	0%	3.4	3.2	3.4	3.2	OQテスト及び学校生活アンケートの実施や教育相談を活用し、児童に寄り添った対応をとることができた。また、児童生徒支援委員会が情報共有や対応方針の検討などを行い、組織的に対応することができた。 ●生徒指導上の問題を組織的に地域と連携して取り組んでいくことが十分できなかった。	◇地域との連携に関する校務分掌が活性化するように、担当を中核に、連携の在り方を協議していく。	3.4	3	*児童が着実に身につけている姿から小学校からの指導や地域の支えのおかげだと思っている。 *体力アップ計画の取り入れや生活力アップ計画の取り入れを行うことにより、健康管理、時間管理の面で子どもたちの育成を目指していきたい。 *子どもに寄り添った姿勢はよく感じる。	
		★ 子どもとのふれあいを大切に、子どもに寄り添った姿勢で、子どもも理解し努めることができた。	44%	57%	0%	0%	3.4	3.5								
		★ 家庭や地域等と連携した生徒指導上の問題に対して、取組を行った。	30%	52%	17%	0%	3.1	3.1								
		★ 子ども一人一人のよさを認め、子どもに自己肯定感や有用感、充実感を味わわせるような授業や活動に取り組むことができた。	39%	61%	0%	0%	3.4	3.2								
		★ 保護者等と連携しながらいじめの早期発見・早期対応を支援委員会でも報告することができた。	48%	48%	4%	0%	3.4	3.2								
		★ 毎月アンケートを実施し、いじめの把握をし、対応することができた。	35%	39%	0%	0%	3.5	3.3								
いじめの早期発見・早期対応	★ 保護者等と連携しながらいじめの早期発見・早期対応を支援委員会でも報告することができた。	26%	48%	0%	0%	3.4	3.1	2.8	4.8	0%	0%	3.4	3.1			

評定尺度の基準 4.....達成できた(80%以上) 3.....だいたい達成できた(60~79%) 2.....あまり達成できなかった(40~59%) 1.....達成できなかった(40%以下)

学校関係者評価は、自己評価(教職員が行う評価結果の平均値)の客観性・透明性を高めるとともに、学校・家庭・地域が学校の現状と課題について共通理解を深めて相互の連携を促し、飯塚東小学校の学校運営の改善への協力を促進することを目的として行うものです。

言い換えますと、教職員の皆さんへの校長：松尾史朗の学校運営の評価を、学校の自己評価(学校評価)とする評価の評価、さらに、第3者における客観的評価として、その学校評価をコミュニティスクール委員(保護者代表者の方や地域代表者等の学校運営協議会メンバー)の方々を代表された関係有識者がたがに、校長の学校経営が適切になされたかを評定(評価)していただき、次年度のよりよい学校経営に生かすための指針となり、体育の学習で言えば、リレーのバトンパスのシーンの録画をみて、改善点を考え合ったり、野球やサッカーの試合で言えば、ゴール付近のVAR映像判定もしくはオリンピック競技の写真判定であったりのようにも感じます。この学校評価は、学校の教育水準の向上のため、法にも定められています。法的根拠としては、平成19年6月に学校教育法が改正され、第42条において学校評価に関する根拠となる規定、第43条において学校の積極的な情報提供についての規定を新たに設けられまして、教育委員会さんへのご報告と毎年公表のため学校通信に年度末に掲載させていただきます。

▶ だいておりますが、踏み絵のようにもあります。しかし、自己評価は大切なことであり、物事は、やりっぱなしではいけません。毎年結果を重く受け止め、次年度の子ども達への教育に邁進させていただくための指標とさせていただきます。

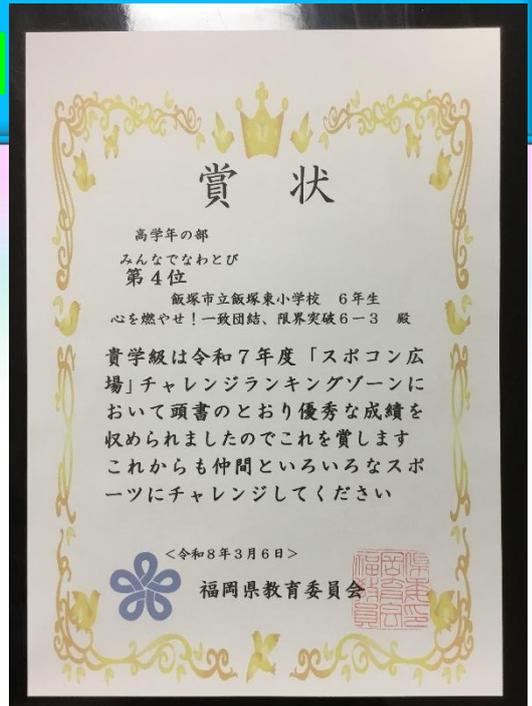
なお、本校の学校評価（学校関係者評価）は、評価される人や評価する人は違いますが、私が潤野小学校（現：飯塚鎮西小）という学校での教頭職をさせていただいていた時につくったものをマイナーチェンジし指標としてやく20年間同じ評価項目で菟田小や飯塚小、そして、飯塚東小と結果を比較検討しながら次年度につなげております。本校では、歴代のお二人の教頭先生方には評価や集計や分析しにくい評価シートではありましたが分析し、結果を出していただきましたことに感謝申し上げます。反省として今年度、最も大切である理解度などが低い傾向でありました「人としての権利であります人権教育や同和教育」への理解や啓発状況の認知度が今年度かなり研修会を開き職員は努力いたしました同じであったことは次年度に克服していかなばならないことであると強く思っております。

卒業した6年生が県から表彰されました。代表して6年3組が受賞されました。おめでとうございます。

福岡県のスポコン広場に「みんなで縄跳び3分間」で6年3組が福岡県で4位に入賞されました。記録証はカラーコピーを6年3組児童全員に渡されております。6年生の3クラスとも「みんなでジャンプ大会」で素晴らしいジャンプをしていましたので入賞したらうれしいなと思っておりましたら3組が4位に入賞されたのでうれしく思っております。6年生学年集団は、在校生の憧れの存在でした。仲間と励まし合うシーンが蘇ってきます。5年生も4年生も3年生も2年生も1年生も素晴らしいチームワークで合計3214回を跳んだあの日が懐かしく思い出されます。

卒業した6年3組の皆さんおめでとうございます。6年生全クラスの皆さん感動をありがとうございました。

すてきなメッセージスライドは、私が撮った写真を、黒屋教頭先生と、事務室の村上先生が芸術作品に仕上げてくださいました。この場をお借りしてお礼申し上げます



R7年度（2025）の青春映画のような学校生活は明日で終わります。R8（2026）年度も素敵なドラマのような学校生活を期待しております。（..）